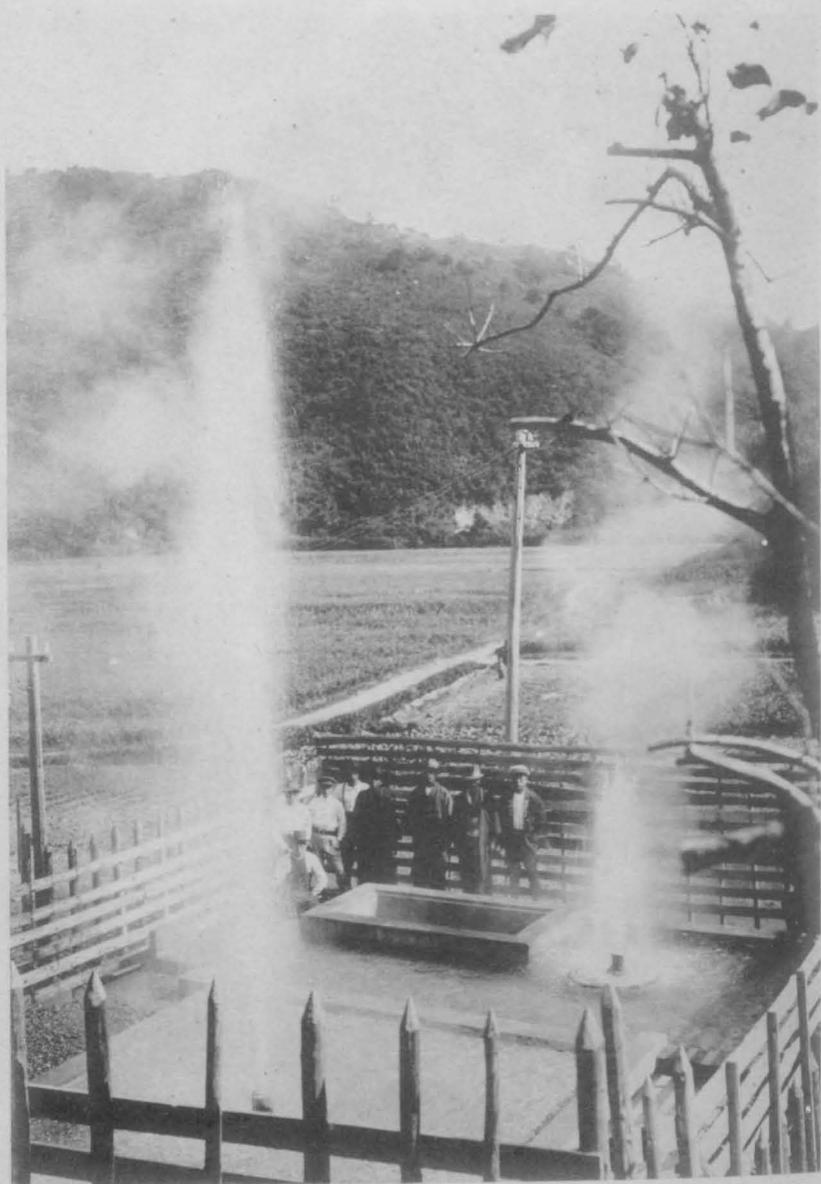


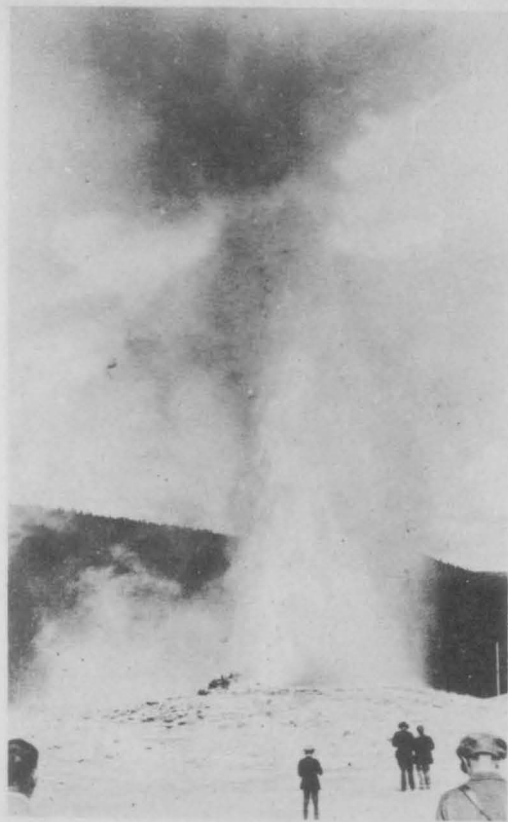
Title	圖版
Author(s)	
Citation	地球 (1924), 2(1)
Issue Date	1924-07-01
URL	http://hdl.handle.net/2433/182718
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher



泉温歇間アロイツのドンラージウニ



伊豆國下賀茂の湯



出噴の泉温歇間實老



瀧の下さ谷峽河石黃

湯 華 の 壇

地球 第二卷 第四版



黄 石 公 園 巨 象 温 泉



新 西 蘭 舊 羅 馬 之 白 堊 壇

モンドンル風景

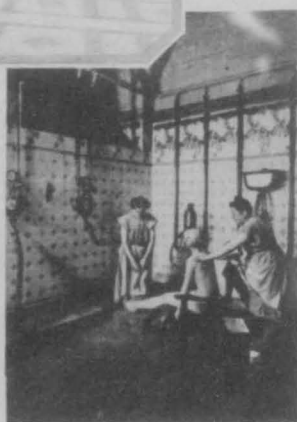
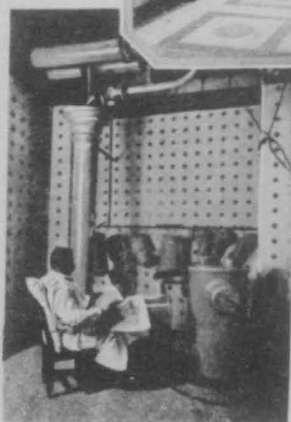
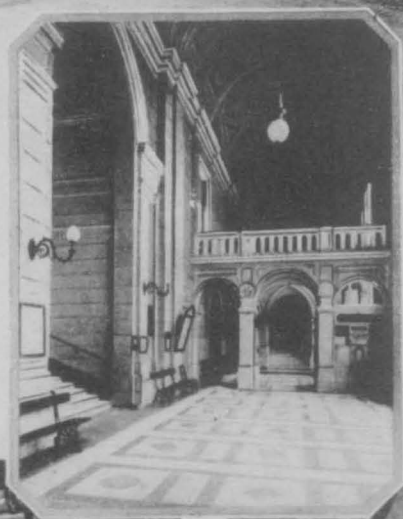
地球
第二卷
第五版



ピエドンドム北望



モンドンル温泉市街



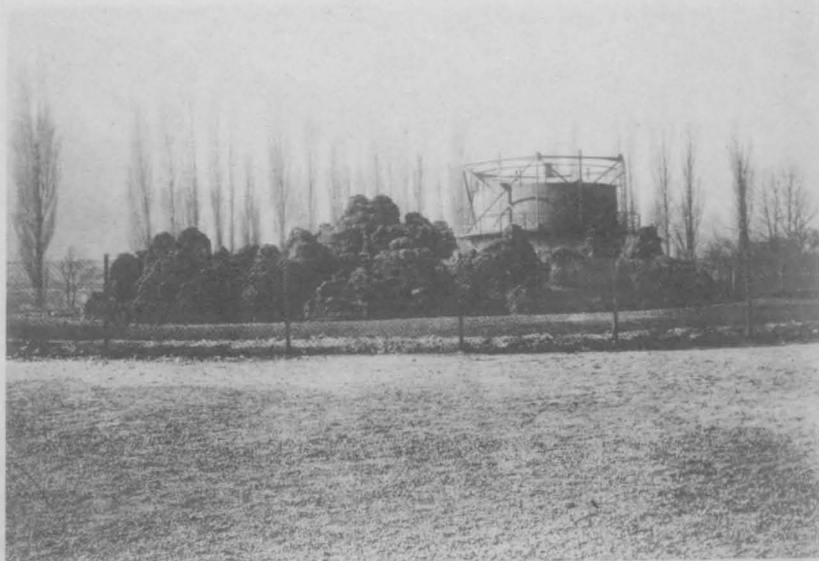
佛國埃斯克巴浴場設備

的資料や、温泉湧出力或は地震等各種の觀察調査等の資料の集まるのを待つて、更に他日詳論を試み専門學者の御高教を仰ぎたいと思つて居る。(十三年六月九日稿)

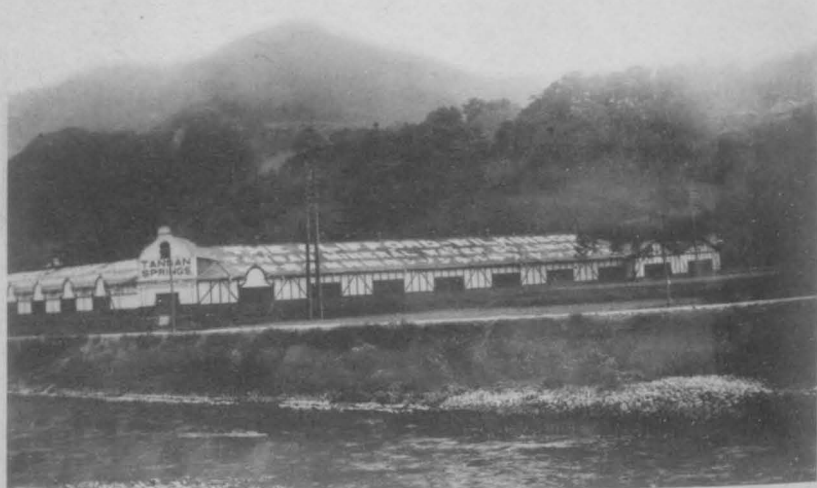
エークス・レ・バンの温泉 (卷頭圖版第六版)

エークス・レ・バンは佛蘭西南東部の山地にあつて、巴里、羅馬間の鐵道幹線に當り巴里より五四五軒に位する、其の名が示して居る様な小さな樹木の多い温泉市である。西はアルゲエ湖に接し東にはルヴァール山が聳えてゐる。此處は十九世紀前半の政治家であり詩的考察といふ詩集で有名であつたラマルチンの考察もし詩を作つた處である。古くから知れて居つた温泉場で今でもカンパヌス穹隆門や、ティアナ女神の殿堂や羅馬人の風呂跡が残つてゐる。こゝには立派な温泉宿があつて浴槽のある外リウマチスによく利くといふ濯湯マツサーシマルサシの設備が立派に出来てゐて、他の温泉では眞似の出来ないものださうである。圖版の最上は浴室の建物であり、中央は其の内部で、右下は濯湯マツサーシを行つてゐる所で、左下は湯の調合者である。このマツサーシがよく利くといふのは温泉に放射能があることと温度が外國人にまつては高くて四十七度あることではあるが、之に加ふるに子々孫々に傳へた濯湯者と採み手の永い經驗による熟練を以てする爲めださされてゐる。温泉は各所にあつて一日の湧出量百萬ガロンだといふ。猶湯を飲むと一層よいと云ふ。温泉には明礬と硫黄とを含んでゐる。

エークスの谷は氣候がよくて夏は暑からず、夕方ほ心地よい冷かさを感じる云ふ。そして温泉市にふさはしいオペラや音樂會やが半箇年のシーズンの間開催される。此の時期には上流社會のものが集る。又こゝはアルプス山登りの主要な中心點である。



泉沸泡歇間島ーイデメナ河ンイラ



場工水酸炭ンソンキルイウ瀬生縣庫兵